



調布市文化協会

調布市小島町2-33-1 調布市文化会館たづくり6F

URL : <http://www.chofushibunkakyokai.jp>  
[chofu-bunkyo@bj.wakwak.com](mailto:chofu-bunkyo@bj.wakwak.com)

# 文化・芸術は生きる力 文化協会と共に

調布市副市長 小林 一三

調布市は、今年四月一日に市制施行六十周年を迎えます。調布町と神代町が合併し、合併時の市の人口は四万五千人余、まだ田園風景の広がるのどかな時代でした。

この間、文化協会は昭和四十一年に、その前身の調布町文化会は昭和二十三年に発足していますので、調布市の歩みとともにその活動の輪を広げてきたことになりました。今日に至るまでにはご苦労もあつたことと推察いたしますが、半世紀を超えて活動を続けられ、今では二十二団体二千人余の会員数を擁する団体に大きく発展されています。

これまでの文化協会の主な事業を振り返りますと、市民文化祭の主体運営や生涯学習講演会、実技講座の実施、姉妹都市本島平村をはじめとする他県市との文化交流等々、調布市の芸術・文化振興の発展に大きく寄与されてきました。

私自身、平成十五年から所管部署である生活文化部を担当し、各種作品展示や音楽、舞台芸術等々愉しませていただいておりますが、その質の高さに毎回深い感銘を受けております。また、地域の文化・芸術の普及を積極

的に実践されるとともに、広く市の施策や事業にも精力的にご参加いただくなど、会員皆様の意識の高さが窺われます。

文化・芸術は人々の創造性を育み、その表現力を高めるとともに、人と人との心のつながりを深めるとも言われております。物の豊かさから心の豊かさへ、阪神淡路大震災や東日本大震災を経験し、人は辛い哀しみを乗り越える一筋の光、勇気を見いだすことができたと思えば、全国各地で展開された「ふるさと」をはじめとする歌声であり、人と人との絆の大切さを共有できたことではないでしょうか。正に、文化・芸術は生きる力です。

我がまち調布も京王線が地下化され、まち全体が大きな転換期にあります。そして、調布市民文化祭も今年は六十年の節目の年。これまでの歴史と伝統に裏打ちされた文化協会の実績を新たな調布の文化・芸術活動に生かし、うるおいとやすらぎのあるまちづくりを共に進めていきたいと思います。

会員皆様の益々のご活躍と調布市文化協会のさらなるご発展を心より祈念いたします。

平成二十六年 度 事 業 報 告

平成26年

- 4・14 文化協会役員会
- 4・25 第48回定期総会(懇親会)
- 25年度事業・会計報告
- 26年度事業計画・予算
- 5・25～26 宮城県塩竈市文化協会との研修交流(参加30人) 会報53号発行
- 7・11 調布市長と語る懇談会
- 5・19 第1回文化協会理事会
- 8・9～10 木島平村芸術文化協会との交流夏祭り参加(参加26人)
- 8・31 「調布よさこい」への協力 模擬店出店・役員担当、民謡舞踊好友会流し踊参加(参加50人)
- 11・25 文化協会役員会

第59回調布市民文化祭実行委員会報告書

平成26年度

- 2・10 生涯学習講演会
- 3・3 会報54号発行
- 3・4 第2回文化協会理事会
- 4・20～30 文化祭参加団体申込受付
- 5・16 第1回実行委員会 参加団体確認
- 6・13 第2回実行委員会 開催日程と会場割 他
- 9・8～9・18 一般市民文化祭 参加申込受付(86人)
- 10・3 第5回実行委員会 総合プログラム配布
- 10・16 第59回文化祭開会式
- 10・16 「式典・アトラクション」 『二十五絃箏の世界へよ
- 7・11 第3回実行委員会 開会式・文化祭プラザ内容決定(26団体3公民館参加)
- 9・12 第4回実行委員会 運営費とプログラム印刷 費支給・総合プログラム・「ポスター」各団体所要部数確認
- 10・16～11・16 市民文化祭開催 うこそ(4PLUS)
- 10・18～19 文化祭プラザ 市役所前庭・たづくり東側広場にて工芸・囲碁・将棋の実技、実演コーナー、野外ライブ、フラダンス、吹奏楽の演奏会・舞踊の発表
- 10・25～11・2 地域文化祭(各公民館)
- 12・12 第6回実行委員会報告会 参加状況報告、会計報告 次年度の検討・要望など
- 7・11 第3回実行委員会
- 10・16 第59回文化祭開会式
- 12・12 第6回実行委員会報告会

※平成26年度「実技講座」10団体が実施しました。

**調布市文化協会主催 「第18回生涯学習講演会」**

日時 平成27年2月10日(火) 午後6時より

会場 調布市文化会館たづくり・8階映像シアター

題名 『日本人のバレエに懸ける情熱』

講師 **高部 尚子氏** (谷桃子バレエ団副会長)



# 平成二十六年年度 木島平村芸術文化協会との交流 第三十回木島平村夏祭り盆踊りへの参加

調布市文化協会副会長 岳野 勝治



8月9日(土) 6時30分全員集合しざいざい出発と云う時に、エンジントラブル。約1時間遅れの再出発となりましたが、天候不良が幸いして、道路の渋滞もなく木島平芸文協の方々待つ「パノラマランド・木島平」にほぼ予定時間に到着。



さつそく昼食を共にしながらの交流会。お互い自己紹介、そして調布からは日本舞踊、フラダンス。木島平からは地方色豊かな踊りと無形文化財の「盆じゃもの」を会場狭しと皆んなが輪になって踊りました。最後はお互いの村歌・市

歌を合唱してエールを送りあって閉会。

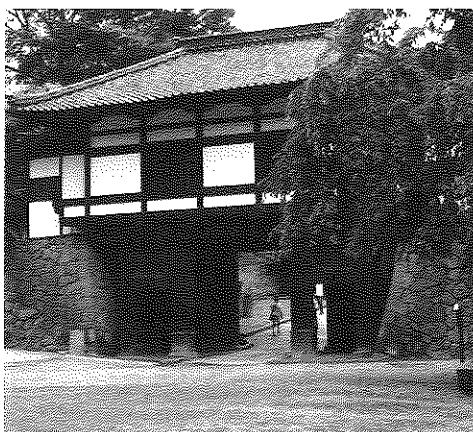
午後6時、小雨降る中、ケヤキの森公園で夏祭り。オーブニングに村立保育園児達によるフラダンス、続いて模範演技として調布市ハワイアンフラ協会の岡島・小川・小村のお三人が調布市を代表して、それぞれ雨の中の熱演に会場の大きな喝采を浴びました。

広いグラウンドの中、調布からは市長を始め、新規採用の職員、そして文化協会からの参加の皆さんは、それぞれ白い浴衣姿で大きな輪を作りながらの盆おどり。



地元の「木島平どどんか」「盆じゃもの」「からす踊り」には何処か信仰的な？重々しさがあるのにくらべ、「調布音頭」には踊りの輪の白い浴衣が目立つ事もあって暗い雰囲気の中に都会的な明るさが感じられたのは私だけでしょうか。

帰路は混雑もなく、小諸高原美術館の上村松園の美人画に見とれ、小諸城址「懐古園」往時の城の大きさに想いを馳せたり、ワイナリーで試飲をしたり、藤村のロマンに酔いながら調布に帰ってまいりました。

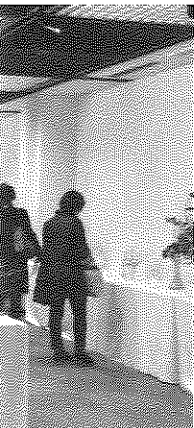
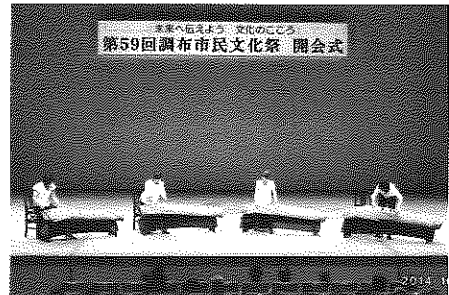


今年の参加団体は、大会・発表部門と展覧・展示部門として東部・西部・北部の3公民館による地域文化祭（10月25日（土）～11月2日（日））が各会場で熱心に趣向をこらして実施されました。

10月16日の文化祭開会式のアトラクションは「二十五絃箏の世界へようこそ」と言うタイトルで木村麻耶・日原暢子・佐藤亜美そして町田光の四女性

### 第59回 調布市民文化祭 「未来へ伝えよう 文化のこころ」

2014年10月16日（木）～  
11月16日（日）  
（文化祭プラザ  
10月18日（土）～26日（日）  
於調布市役所前庭）  
開会式アトラクション  
「二十五絃箏の世界へようこそ」  
出演：木村麻耶・佐藤亜美・  
日原陽子・町田 光



デザイン協会



書道展（書道連盟）



クラシックギター発表会（電通大古典ギター部）



囲碁連盟



バレエフェスティバル（洋舞協会）



吹奏楽演奏会（青少年吹奏楽団）



プラザ



奇術発表会（奇術協会）



ハワイアンフラフェスティバル（ハワイアンフラ協会）

で結成された「4plus(よんぷらす)」の演奏でした。二十五弦箏の演奏は始めてという方も多くその独特な魅力に楽しい一時を過ごす事ができました。

今年の参加者総数は、出演者、出展者、観覧者、開会式参加者としてブラザ参加者を含めて三四、五九五人でした。又、10月18日・19日調布市役所前庭、たづくり東側広場で開催された文化祭プラザでは、本部テントでのコーヒー販売や実技・実演コーナー、そしてハワイアンフラ協会のフラダンス及びタヒチアンダンスそして一般参加者のためのフラダンスのレッスンもあり、又、吹奏楽の演奏や舞踊の発表も行われました。両日とも好天に恵まれ素晴らしい文化祭プラザとなりました。

「調布市民文化祭に参加して」

(公財) 調布市文化・コミュニティ振興財団  
コミュニケーション課 森 健二

調布市民文化祭への参加は、私自身三年目となります。実行委員の皆様や、関係団体の皆様のご尽力により、盛況のうちに閉幕することができました。心

から厚く御礼申し上げます。

今回のテーマは、「未来へ伝えよう 文化のこころ」でした。調布市民文化祭は、日頃、研鑽を積んでいる市民の皆様の文化活動の発表の場です。今回も参加させていただき、多くの文化団体の皆様が催し物を一丸となつて行う中で、

文化交流が育まれている場でもあることを、改めて感じる事ができました。長い歴史を持ち、人との絆を育んできた調布市民文化祭が、今後も未来の調布市の芸術・文化振興を推進し、次世代に繋がっていくことを願っています。



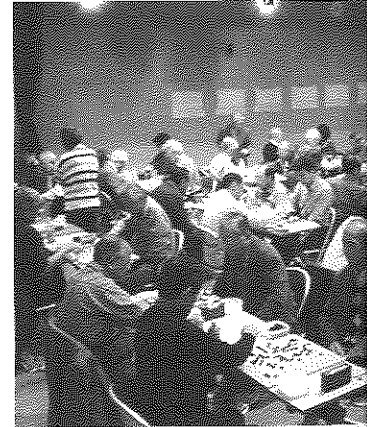
写真展 (写真連盟)



フラワーデザイン展 (フラワ)



民謡舞踊・新舞踊発表会 (民謡舞踊好友会)



市民団基大会 (アマチュ)



音楽祭 (音楽連盟)



お茶会 (茶道連盟)



文化

### 第18回生涯学習講演会

テーマ 日本人のバレエに懸ける情熱／講師 高部尚子氏  
(谷桃子バレエ団副団長)

文化協会副会長 加藤 弘子

二月十日(火)午後六時「たづくり」八階映像シアターで満席の中「谷桃子バレエ団」副団長・高部尚子さんの講演会が行われました。



日本におけるバレエの始まりは、大正の中頃ロシアから亡命し当時鎌倉に在住していたエリアナパプロア氏によって、何人かの日本バレエの先駆者達に伝えられたのが始まりであった事等。バレエの歴史から始まり、西欧人の人種的偏見、体系骨格の違いの中、先駆者達の熱血指導とそれに応えた、バレエを目指す若い人達の情熱と努



力が今日の世界における日本バレエの地位を築いてきました。と、体験を通して熱き想いを語られました。

さらに、バレエの踊りでの意思の表現方法を身体の動きで教えて下さる等、自ら具体的な体の動きを交えての説明は、観客の共感を呼び皆さん熱心に聞き入って居られました。

### 茨城県「神栖市文化協会との交流」

懇談会

文化協会副会長 岳野 勝治

一月二十八日(水)午前十時「たづくり」12階大会議場で神栖市文化協会より野口さち子会長以下22名、調布市文化協会から高岡宮子会長以下役員、理事合計33名が出席、岳野副会長の司会で定刻通り開会致しました。

当日は明け方、みぞれまじりの冷たい雨が降り、神栖市文化協会の方々はさぞ大変だったと思います。両会長の挨拶からもこの交流会にかける思いが強く感じられ、両協会の自己紹介、活動内容の報告の後、神栖市文化協会から予め提



出されていた、質問事項の回答というより説明が資料に添って調布市文化協会高岡会長より行われました。

神栖市の文化協会に対する、指針となるようにと、願いを込めて、調布市文化協会と行政との信頼関係について熱く例を上げながら話されました。

その後、神栖市側より大変勉強になり、「大雨の中本当に来て良かった」との影のお声がありました。

# 実 技 講 座

## 第十六回カラオケ実技講座 初級中級実技講座

歌謡同好会連盟 嶋谷 隆治

今回の講座は七月十二日・十九日、それぞれ一時三十分より四時迄で、延べ八十名の参加者で行われました。

要点は音楽の基礎である呼吸法や、発声方法の準備運動、又楽譜の読み方が大切である。



更に「語りについては、歌の中でもしゃべる様に唄うように」歌う時は気持ちを込めて、状況や情景を思い描きながら。これから始まる物語を想像させる様に語る事が大切である。

特に演歌は最初のワンフレーズの印象的な言葉とメロディが聴く人の心に届ける事ができるのである。

「歌は唄うな、言葉は語れ」と痛感しました。

## 初心者のための詩吟講座

調布市吟剣詩舞道連盟 出浦 雪励

雪山流詩吟学習会としては、久しぶりの実技講座を担当することとなりました。市報への掲載を経て申込者も予想以上に多くの受講者があり、年齢層の幅広い方々が熱心に聴講されました。

健康を第一に考えた吟詠の有り方、男性、女性共に合吟（合唱）

を中心に親しみ易く学習して頂きこれからの人生に趣味として永く学んで貰いたいとの思いで、呼吸法、発声法、母音と子音の変換等、解り易く説明と実技を行いました。今日は特に、近代吟詠を得意とする私共、雪山流の和歌、短歌、俳句、新体詩等、詩文の解釈を交じえて作者の意図する処、詩心の大切さを学んで頂きました。今後、永く詩吟を通じて健康で意義ある人生を歩まれることを念じています。



## 大正琴実技講座

大正琴連盟 上畑 敏子

「楽器の演奏は認知症予防に良い」とテレビでも放映されています。

今回は、チラシを各所に置くだけでなく、知人のいるサークルに出向き、手渡しながら勧誘活動もしました。

これらの効果なのか、講座は二回とも賑やかでした。

大正琴は、数字符ですが、左指の指先があります。これが大変で



# 実 技 講 座

「親指が痛い」「自分の指なのにいうことをきかない」「肩がこった」と遠慮のない声が飛び交いました。でも、苦しい練習の結果は必ず出ます。

最後に「お正月」を皆で弾いてあつという間に過ぎ去る一年だからこそ、今の時間を大切にと思いつき大正琴を実践してほしいと願って終わりとしました。

## クリスマスフラワーアレンジメント

フラワーデザイン協会  
高部 フミ子

11月29日・12月6日の2回にわたり初心者の方の実技講座を実施致しました。フレッシュで作るリースなので、長持ちするように芯で土台を作り、赤バラ、サンキライ、姫リンドゴ、ポインセチア他を飾り、自分だけのリースを制作致しました。今回はあえてポインセチアの水上げを教え、いかに水が

上がると花が長持ちするかを教えられました。アレンジメントは、ヒムロ杉、赤バラ、ヒベリカム、スプレーカーネーション他、麻ヒモで星を手作りして、サンキライの枝先につるし、モダンなアレンジメントが出来上がりました。雰囲気を出す為耐熱ガラスの中にキャンドルを置き完成です。制作中の皆様のイキイキした顔、幸せそうな眼差し、私も幸せな一時でした。



## 調布よさこい2014

調布文化協会 吉田 正夫

昨年の「ちようふよさこい2014」は8月31日に調布駅前南口広場と調布から布田間の旧甲州街道の両方で行われました。開催当日は好天に恵まれ躍動的なよさこい流し踊りに街全体が熱気に包まれ民謡舞踊友好会として参加した全てのチームの踊りに感動の拍手が送られました。又、今回は布田

天神境内に設けられたステージに立つて皆さんに調布市文化協会の



文化活動の内容について説明が出来て有意義でした。蓮慶寺境内の文化協会による「かき氷」の販売は役員皆さんの汗によって予想以上の売上げとなりました。今年も踊子さん、見物に訪れた人々そして多くの子供達との交流が出来ました。

### 訃報

エスペラント会の理事小川和夫氏が1月27日に逝去されました。(享年82才) 奇術協会評議員 永野幸男氏が2月6日に逝去されました。(享年79才) つつしんでご両名のご冥福をお祈り致します。



### 編集後記

昨年調布市内に降った局地的な大粒の雪は道路に溢れ、川のように流れました。そして、樹木や草花は大きな被害を受けました。しかし時が経つにつれて次第に回復し今では、梅が咲き始めました。自然の脅威と生物の生命力の強さを改めて実感しました。

吉田正夫